

**【令和 7 年度 第 1 回愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議) 会議結果概要】**

1 会議の名称

令和 7 年度第 1 回愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議)

2 開催日時

令和 7 年 8 月 2 6 日 (火) 15:30～17:00

3 開催方法

愛媛県総合社会福祉会館 4 階 視聴覚室
※現地とオンラインのハイブリット開催

4 出席者

構成員 9 名
事務局 6 名 (長寿介護課)
関係課 2 名 (健康増進課)
計 17 名

5 内容

- (1) 開会
- (2) 局長挨拶
- (3) 構成員紹介
- (4) 議事
 - ①愛媛県の認知症施策について
 - ②愛媛県認知症施策推進計画 (仮称) について
 - ③市町の認知症施策について
- (5) その他
- (6) 閉会

6 審議の内容 (全部公開・傍聴者 0 名)

(1) 愛媛県の認知症施策について<資料 1>

令和 6 年度の愛媛県の認知症施策の取組状況並びに令和 7 年度の取組予定について説明した。

【構成員からの主な意見】

- ・認知症に対する抗体薬が開発されており、医療従事者サイドでは、問い合わせや治療施設への紹介等が増加している。
- ・財産管理の面について、お金の相談が結構あるので、講座等でも金融機関側から情報提供をしてもらえるとよい。
- ・雇用に関する相談については若年性認知症コーディネーターにも繋いでほしい。

（２）愛媛県認知症施策推進計画（仮称）について＜資料２＞

愛媛県認知症施策推進計画の策定方針、スケジュール案、県民の認知症に対する意識調査の結果等について説明した。

【構成員からの主な意見】

- ・認知症であることをオープンにできる場合は自分たちも気持ち的に楽になれると思う。認知症と分かったら近隣の周りの人に知ってもらって当事者が不自由なく今の生活が続けるのが理想だと思う。しかし、生活圏から少し離れたところの活動に参加する方がむしろ気楽に参加できると感じている方もいる。
- ・以前は、認知症の診断が出ると解雇される心配があるという話もあったが、最近では、面倒見の良い事業主が増えている印象である。
- ・啓発方法として、最近では新聞を購読していない世帯も増えているので SNS やメディアの活用が有効ではないか。
- ・フォーラム等は、興味があっても遠方で参加できないこともあるので、Web で視聴できるようにしてほしい。

（３）市町の認知症施策について＜資料３＞

市町の認知症施策について説明した。

【構成員からの主な意見】

- ・認知症のイメージが、従来は暗く重いものだったが、今は自分事として考えている人が増加しているように思う。本人発信により、「新しい認知症観」を伝え、イメージを変えることが重要。
- ・認知症の本人だけでなく、家族にも目を向け、本人・家族をともに当事者として両輪で取り組んでほしい。

7 意見交換の結果

ここで検討された内容は、愛媛県認知症施策推進会議に報告する。

〔事務局〕

保健福祉部生きがい推進局

長寿介護課介護予防係

電話 089-912-2431

FAX 089-935-8075